



道路行政・通学路・ワクチン接種 ユニバーサルシートについて

向井 誠議員



道路の危険箇所のお知らせ

査・研究を進めます。

質問 危険箇所をスマートフォンで撮影し、通報できるシステム導入の考えは。

回答 情報が即時に把握できるため、業務の効率化につながるかと認識しています。システムの運用に100万円近い費用が想定されるので、費用対効果について調

査・研究を進めます。

質問 通学路の危険箇所への対応は。

回答 通学路の安全点検の中で、国道や県道は土木事務所が、規制に関しては警察署が担うため、教育委員会としては、安全安心課や道路河川課などと連携し、

通学路の安全対策を進めていきたいと考えています。
ワクチン3回目接種
質問 新型コロナウイルスワクチンの3回目接種の状況は。

回答 接種券の発送が遅れているのが一番の原因で、今後は2回目接種から6か月間隔での速やかな接種券の発送を行っていきます。

西口広場の公衆トイレに設置しています。必要性の高いものと認識していますので、今後は、公共施設の障がい者用トイレの改修時期に合わせて、施設担当課に協議・依頼したいと考えています。

査・研究を進めます。

査・研究を進めます。

回答 本市の接種状況は、3月7日現在の接種率で全体は19・1%、65歳以上の高齢者は43・8%です。群馬県全体は、接種率29・4%で本市の接種率を約10ポイント上回っています。

質問 本市が県より10ポイント下回っている原因は。

回答 産業や観光の複合拠点として、企業進出の可能性や開発手法などの検討をしています。今後も農業、工業、商業、様々な角度で民間企業の意見も聞きながら検討を重ねていきます。



国道354号館林インター前交差点 渋滞対策、館林インター周辺開発について

松本 隆志議員



国道354号渋滞対策

質問 館林インター前交差点の渋滞発生要因と、講じた対策を伺います。

回答 インターへ向かう2車線道路のうち1車線が右折車線となり、一時的に直進の車線が減少することが渋滞の大きな要因と考えま

右折矢印信号の導入や信号サイクルの変更等、段階的に対策を講じてきました。

質問 渋滞解消に向け、インター入口をトランプット構造に改修する考えについて伺います。

回答 進入路の動線や国道との建築限界、周辺施設への影響等、様々な構造的課

題があります。行政の提示する方策は「群馬県域移動性安全性向上委員会」に諮られ検討されるので、県と情報共有を密に行い、積極的に協力していきます。

要望 邑楽郡と館林の自動車交通の核である館林インターの改修実現に向け、取り組むようお願いします。

質問 地元地権者より提出された地域の有効活用要望書を受けて、検討した内容について伺います。

質問 今後の事業化に向けての課題について伺います。

質問 市長は「館林インター周辺に大型商業施設を誘致することが活力あるまちづくりになる」と言われませんが、どのような業態を誘致するのか伺います。

す。群馬県や県警と協議し、

との建築限界、周辺施設への影響等、様々な構造的課

題があります。行政の提示する方策は「群馬県域移動性安全性向上委員会」に諮られ検討されるので、県と情報共有を密に行い、積極的に協力していきます。

回答 今後の事業化に向けての課題について伺います。

要望 地域経済活性化に向けたインター周辺開発に取り組むようお願いします。